

2015年10月15日  
株式会社 JP メディアダイレクト

## JP メディアダイレクト Sansan の名刺データと連携した 年賀状印刷サービス『B2B LoveLetter』を開始

日本郵政グループの株式会社 JP メディアダイレクト(東京都港区、代表取締役 CEO 中島 久治)では、法人向けクラウド名刺管理の Sansan 株式会社様(東京都渋谷区、代表取締役社長 寺田 親弘)が API を公開したことに伴い、同サービスで管理されている名刺のデジタルデータをそのまま年賀状やビジネスレター等の宛名に印刷できるサービス『B2B LoveLetter(商標出願中)』を、10月29日(木)より開始します。



「営業を強くする」というコンセプトのもと、多忙なビジネスマンが、年賀状を営業ツールとして、より活用し易くするために開発。これにより、さらなるビジネス年賀状の拡大を目指します。

本システムは、名刺管理システム『Sansan』のユーザー画面内でタグ付けされたデータを、一括して『B2B LoveLetter』に API 連携することで年賀状の宛名印刷が可能です。また、裏面も豊富なテンプレートからお好みのデザインをご利用いただくことはもちろん、自社でデザイン制作したデータを用いて印刷していただくことも可能です。

印刷したはがきは弊社で宛名印字の上、郵便局への持ち込みも対応可能です。また、添え書きをなさりたいお客さまには、本社はもとより支社・営業所など、ご指定の場所にお届けすることもお選びいただけます。



JPメディアダイレクトでは『Sansan』とのAPI連携を皮切りに、他のアライアンス先も開拓し、同サービスの利用拡大を進めて参ります。

#### ■Sansan とは

Sansan 株式会社が提供するサービスで、「営業を強くする名刺管理」をコンセプトに、企業に眠る名刺を営業活動に使える資産に変えることで、「出会い」の価値を最大化する企業向けクラウド名刺管理サービスです。ユーザーは名刺をスキャンするだけで、名刺情報は入力オペレーターにより正確にデータ化され、クラウド型アプリケーションを通して組織内で名刺情報を共有できます。さらにその名刺情報を元にしたマーケティングや営業活動、顧客管理といった幅広い活用が可能な機能を備え、これまでの名刺の価値を革新する全く新しい名刺管理サービスとして特許を取得しています。ユーザーの使いやすさに拘ったサービス設計や、企業の収益向上につながる「営業を強くする」機能が支持され、国内・海外の多くの企業で幅広く導入されています。

「B2B LoveLetter」に関する概要は：

<https://hid.jp-md.co.jp/teaser>

詳細のお問い合わせは：

[b2bl-info@b2bloveletter.jp](mailto:b2bl-info@b2bloveletter.jp)（B2B LoveLetter 事務局）まで

JPメディアダイレクトに関する

詳細・お問い合わせは：

<http://www.jp-md.co.jp/>

03-5157-6071（経営管理本部・広報担当）まで